



2022年度 年主題「つながって～今、わたしを生きる～」

0・1・2歳児 10月主題 「ひろがる」

月のねがい

- ◎保育者と一緒にさんびかを歌おうとする。
- ◎全身を使って繰り返し遊ぶ
- ◎思っていること、見たことを身体で表現しようとする。
- ◎友だちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有する。
- ◎季節の移り変わりを全身で感じる。

3・4・5歳児 10月主題 「みんなちがってみんないい」

月のねがい

- ◎神さまからいただいている一人ひとりの賜物が大切にされる。
- ◎好きな遊びをじっくり繰り返し返す中で、試したり、自分なりに工夫してみようとする。
- ◎一人ひとりのそのらしさに気付いて、おもしろさや楽しさ、素晴らしさ、また難しさも感じ合う。
- ◎空の美しさ光や風の気持ち良さを感じながら、心身のびやかに動かして過ごす。



秋の実りと運動会!

2学期が始まり1か月が過ぎました。9月に入り子どもたちも運動会に向けて、各クラスそれぞれおけいこが始まっています。めぐみ組・ひかり組さんは園庭や児童公園でかけっこのおけいこ。保育者に名前を呼ばれると「はい!」と元気よく返事したり、「はい、元気です!」(?)と朝の出席点呼の返事になったり(笑)と、かわいい姿を見せながらスタートの練習とゴールを目指して走る練習をしています! あい組・のぞみ組さんは今年度は2チームに分かれての綱引きと園児リレーになります。サークルタイムで「こうやって決めたらいいんじゃない?」「みんなでかけっこして分けていけばいいと思う!!」とアイデアを出し合いました。チーム名も今年度のテーマ『秋の実り』に合わせて、青チームを「ブルーベリー」、黄色チームを「スイートポテト」と命名して、チーム一丸となって頑張っているところです。

今年度の運動会のテーマは『秋の実り～食べること、遊ぶこと、元気なからだに感謝して～』です。私事ですが、8月に人生で初めて手術と入院をしました。その時、1週間ほど絶食期間がありました。期間後、久しぶりのご飯を口にしたらおいしかったこと! 絶食していた時も栄養は摂っていたのですが、やはり口から食べ物を身体に入れると心も元気になり、身体も動かしてみようという前向きな気持ちも出てきて、その後はあつという間に元気になりました。今まで、当たり前だと思っていた「食べる、動く、元気なからだ」が当たり前なことではないんだと改めて感じ、感謝することでした。今回のテーマを通して、自分たちはたくさんの命を頂いて生きていること、元気な身体で沢山遊べることに感謝できることを改めて子どもたちと考えることができなと思います。今年度は少しだけ制限も緩和し、たくさんの応援をいただきながら、子どもたちの笑顔や悔しい顔など様々な姿を見ていただきたいと思います。どうぞ、いい天気になりますように…。



主任 冷水

10月の行事予定

4日(火)	運動会予行練習・弁当日
15日(土)	第65回運動会
17日(月)	1号児振替休日
18日(火)	健康診断、避難訓練
20日(木)	秋の遠足(3才児以上)
21日(金)	秋の遠足(0・1・2才児)
24日(月)	おすもう大会(あい)
25日(火)	おすもう大会(のぞみ)
26日(水)	おにぎり・スープパーティ

11月の行事予定

5日(土)	秋祭り
9日(水)	給食バイキング
10日(木)	10月、11月誕生会
12日(土)	めぐみ誕生会
16日(水)	持久走試走
17日(木)	避難訓練
19日(土)	持久走大会

今月の聖句 喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

Ⅱコリント書9:7

先日、10月で3歳になる孫と久しぶりに遊ぶ機会がありました。前もって両親に聞いて用意していた、本人が喜ぶプレゼントを渡しました。孫の心を驚かしたいというじいじの思惑通り、とても喜んでくれました。一つは2歳児以上向けのLEGO、もう一つは我が家で飼っているパグ犬そっくりなぬいぐるみです。LEGOで一通り遊び満足した孫は、パグのぬいぐるみを抱き上げ、なでなでしたり、頬ずりしたり、とてもお気に入りの様子。保育園で過ごしているの、自分の物とみんなの物の区別もついています。外出に出かける時には、「これ、持って帰っていいの?」と聞いてきます。「それは、あなたのだよ。持って帰ってね」と言うと、嬉しそうにぬいぐるみを抱きしめていました。外出も終わりに車に戻ると、車に置いてきたパグぬいぐるみにまっしぐら。「わんわん、ずっと待ってたの? もう大丈夫だよ、帰ろうね」と話しかけていました。

喜びのあるところには、微笑みが生まれます。愛の絆が生まれます。子どもたちがその絆を学ぶところは、まず第一に家庭、その次にこども園があげられるでしょう。園で色々なことに取り組みながら、自分を愛すること、他人を愛すること、共に喜ぶこと、与え合うことなどを身に付けていきます。成長するその姿は、親の喜びであり、先生たちの喜びであり、園全体の喜びです。秋を迎え、子どもたちがそのように育つことを祈ってやみません。

協力牧師 池田基宣



子どもの存在という恵み

台風十四号が通り過ぎてから、一段と朝夕が涼しく感じられるようになりまし。今年には既に十八号も台風が発生していますが、十四号のようなメガサイズの台風がこれから来ないとも限りません。何はともあれ、無事に運動会が開催できそうです。よう祈り続けます。

先日、園長たちの研究協議会で、県の所管の担当の方から少子化の現状について以下のような報告がありました。九月に発表された「出生動向基本調査」によると、夫婦の平均子定数(子ども数)は前回と同じ2.01人だが、「いざれ結婚するつもり」と考える独身者は、男性が前回(H21)より4.3%ポイント減の81.4%、女性が同5.0ポイント減の84.3%と大きく減少。「一生結婚するつもりは無い」も、男性5.3%増の17.3%、女性6.6%増の24.6%と高くなってきている。また、独身の希望子ども数は、男性1.82人、女性1.79人と前回より減少。女性で初めて二人を下回った。ちなみに西之表市の出生数は、平成七年の1.69人から令和二年には1.88人となり、二十五年前の52.1%になっています。また、十五歳以下の人口は、昭和六十年の五、三二〇人から、令和二年には一、八二〇人となっており、三十五年前の34.2%に激減しています。当分結婚数も出生数も増える傾向はなさそうです。

さて、結婚と出産は個人の自由選択なので、とやかく言うつもりはありませんが、私はこれを聞いて、浜文字さんの著書「母の時間(とき)」の中の印象深い言葉を思い出したので転記します。「子どもは、とことん無防備な姿でやって来て、とにかく神秘的。その健全な生命力にホロリとさせられるうちに旺盛なエネルギーで驚くほど確かな自己主張を展開し「天下御免」待たない」の迫力で真剣勝負を挑んでいきます。子どもは0歳から十数年をかけて、親の忍耐力を試し、想像力に問いかけ、価値観を確立させることを続けられます。「本当にやりたいことは、育児にエネルギーを奪われたくらいで決して逃げたいことはありません。お母さん」って大変です。でも「お母さん」ってやっぱりいい。必要としてくれる子が毎日そばにいます。誰かに唯一絶対の人として必要とされることほど幸せなことありません。育児には、お料理のレシピのようなお手本やサンプルなどはありません。一人ひとりのお母さんが、心理学の本を読む前に、目の前の子どもと充分に接し、他の子どもと比べる前に、目の前の子どもを充分に愛し、教育者の説を頼りにする前に「子どもは学者より目の前の私の存在をずっとな頼りにしている」と信じる所から、育児を始めたいと思います。子どもと分かち合える喜びを存分に接して下さい。子どもと分かち合える喜びを存分に接して下さい。子どもと分かち合える喜びを存分に接して下さい。

子どもたちがもつとも活発な活動を展開する実りの時期です。ゆっくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思えます。大きな行事の運動会を迎えますが、何より子どもたちのしたいことを通して、いのちはずむ時となることでしょう。早寝・早起き・朝ごはんをよろしく願います。

学園長

はいはい運動のすすめ

過ごしやすい秋の季節のなか、こども園では運動会に向けて活動しています。走ったり、身体を使った表現をしたりと、神様からいただいた体を動かし、楽しいと感じることのできる経験を積んでいきたいと思っています。

とはいっても、子どもたちの身体は様々で、走り方もいろいろです。「よいい、ドン!」スタートしたかと思いきや、転んでしまう子もいます。



人間がはいはいを経るまでには、大事な順序と法則があると言われます。次にあげるのははいはい効果です。

1. はいはいは、全身を使うので**血行をよくします**。
2. 両腕、両手首、両手のひらにしっかり力を入れて体を支え、**手指の動きを滑らかにして力強くします**。
3. 両手をついて胸を張り、左右の目根の筋肉を交互に動かすので、胸の骨格筋を大きく強く育てます。骨格筋の働きは強さは**呼吸力を育てます**。
4. 顔を前向きに首を立てて這うと、動きながらの注意力や平均機能を高め、**姿勢反射などの力も高めます**。(もし、**姿勢反射が弱いと、・転びやすい・転んだとき前に手が出にくい・手が出ないので顔にケガをしやす**)
5. 人間は、肩から首、ほお、あごへと動きが連動するので、はう運動がそれらをよく育てます。あごの育ちが良くなると、**咀嚼力もよく、歯ごたえのあるものを好み**

よくかんで食べます。あごの発達が良いと**歯並びも良くなる**てきれいに生え揃ってきます。舌などの動きも良くなって**発音も上手くなり、歯切れ良くきれいに話せるようになります**。

はいはいの順序

- (~4ヶ月) 仰向きに寝ていることが多い
- (4~5ヶ月) 横向きまで寝返りします
- (5~6ヶ月) 仰向きからうつむきに左右どちら側にも寝返りします
- (6~7ヶ月) 腹を床につけたまま腕の力で左右へぐるぐる回ります
- (7~8ヶ月) 両腕を突き張ってずり下がります
- (8~9ヶ月) 両手、両膝、両つま先を用いた膝つきはいはい
- (9~11ヶ月) 次第につかまり座り、つかまり立ち、つたい歩きなどをするようになります
- (11~12ヶ月) 両手をつき両膝を伸ばし高ばいをします
- (12~13ヶ月) 高ばいの姿勢から自力で立ち上がり、歩が始まります

幼児期の子ども姿を見てみると、はう運動をしないまま幼児期に入っている子どもたちが多く、それに伴う困り感も多いように思います。はう運動をご家庭や園の生活でうまく取入れ、よりしなやかな体、たくましい体を作っていきたいものです。



園長 園師 愛

10月園だより

10月園だより

10月園だより

10月園だより